

# リニアやまなしビジョン（仮称） 策定の趣旨について

令和元年7月26日  
山梨県

# リニアやまなしビジョン（仮称）策定の趣旨

## 現状認識

- ✓ リニア開業は大きな転換点であり、県内経済にとってまたとないチャンス
  - － 中央線や中央自動車の開通以来の歴史的な出来事

➡ 県民生活の豊かさに繋げなければならない

## 問題認識

- ✓ リニアの駅さえできれば、人が来るということは決してない
  - － 受け身の姿勢でいれば、ただの通過駅になってしまう

➡ 積極的に山梨に来てもらえる理由づくりが必要

## アプローチ

- ✓ 確実に山梨に富を呼び込み、県全体の利益の最大化に繋げる
  - － 民間企業や研究機関などを誘致し、県内経済を活性化させることで好循環を生み出す

➡ 誘致の実現可能性や、その手順等を明らかにする

リニアやまなしビジョン（仮称）

# ビジョンの策定に向けた検討体制

- 人を呼び込む理由として、何をどうやって誘致するかということを経営志向で議論【ワーキンググループ】
- 産業構造や現行制度などの背景要因を踏まえ、大局的な視点で実現可能性を評価【検討会議】
- 民間企業や研究機関などの誘致方針や駅周辺の基盤整備内容は、事業主体や資金負担のあり方を重視

## 検討体制

### ◎ 検討会議

#### ✓ 民間企業や研究機関などの誘致の方針を決定

⇒ WG検討結果を踏まえ、誘致に向けて、どのような手順で戦略的に取り組むのか方針を決定

(例)

- ・「大規模展示場・会議場」産業の誘致
- ・第4次産業革命関連の工科大学、研究機関などの誘致
- ・首都バックアップ機能と国の出先機関等の誘致

#### + 駅周辺の基盤整備内容を決定

⇒ 誘致方針やリニア駅乗降客数等の推計を踏まえ、当面必要となる基盤整備の内容を決定

### ワーキンググループ

#### ✓ 誘致の実現可能性を精査

⇒ 市場動向等を分析し、本県オリジナルな価値を訴求する中で、誘致の実現可能性を精査

#### ✓ 誘致に向けて必要となる手順等を整理

⇒ 誘致のターゲットを絞り、誘致に向けて必要となる条件や手順等を整理

## スケジュール

令和元年7月26日 検討会議立ち上げ

8月下旬 ワーキンググループ設置  
～以降、随時開催～

令和2年2月中旬 素案決定  
～パブリックコメント～

3月下旬 ビジョン策定

## アウトプット（イメージ）

ポテンシャル → 現状分析による競争優位性

理由づくり → 誘致の実現可能性

誘致方針 → 誘致に向けて必要となる手順等

基盤整備 → 当面必要となる基盤整備内容

# ビジョン検討会議の進め方

## Step 1 (誘致の実現可能性を検討)

## Step 2 (誘致に向けて必要となる手順等を整理)

ポテンシャル

理由づくり

誘致方針

+ 当面必要となる基盤整備

検討会議

### ① 立ち上げ

- ・趣旨説明
- ・議論の進め方

### ② WG検討結果

- ・本県の競争優位性と課題
- ・誘致に向けた諸条件
- ・誘致の実現可能性

### ③ WG検討結果

- ・誘致ターゲットの絞り込み
- ・誘致に必要な手順等

### ④ 素案検討

- ・誘致の方針
- ・基盤整備内容

### ⑤ 素案決定

- ・誘致の方針
- ・基盤整備内容

報告

意見

ワーキンググループ

#### ✓ 誘致の実現可能性を精査

国内外の市場動向や類似施設等の状況を把握するとともに、民間事業者へのヒアリングを実施し、本県の競争優位性と課題を整理

#### ✓ 誘致に向けて必要となる手順等を整理

民間事業者の参入意欲が高まる要素など、誘致に向けた諸条件を整理し、必要となる手順等を明らかにする